

共和産業海運株式会社 新造船 新共和丸が就航
夏の作業中の熱中症対策に、デッキ上のミストシャワーが活躍

5 月 30 日、愛媛県今治市の株式会社新来島波止浜どっくで造られた、共和産業海運株式会社の新造船「新共和丸」が就航した。これから新共和丸は、国内のガソリンや灯油・軽油などを運ぶ内航輸送業務に就く。

新共和丸は、乗船する各部署の船員から意向を汲んだ上で、快適性を重視した内容で設計され、さまざまな新しい設備が導入されている。

夏の暑い時期の作業中、特に荷役中の甲板作業中の熱中症対策として、甲板上にミストシャワーが設置された。これから夏本番を迎えるため、乗組員はこのミストシャワーの活躍に期待を寄せている。

厨房には、かつてクルーズ客船で勤務していた司厨長の経験を活かし、乗組員にさらにより良い食事を提供するため、スチームコンベクションオーブンの導入の希望があり設置された。スチームコンベクションオーブンは蒸気と熱風の対流で調理を行い、焼く・蒸す・揚げるなどさまざまな加熱調理をこなせる調理機器。石油類を運ぶタンカー船では、荷役中は魚焼き器など電熱線の調理器具が使用禁止となるが、電熱線のないスチームコンベクションオーブンは、荷役中でも使用可能。また、ハンバーグや茶碗蒸しなど、蒸し料理が美味しく作れるので、乗組員からは喜びの声が多かった。

本船の工作室は、エンジンルームと区画が分かれており、作業効率を上げるために、家庭用エアコンが 2 台取り付けられ、機関長は「静かで快適な環境下で作業に取り組めるため、作業効率が良くなった。疲労の軽減に役立っている」と語った。

船員居住区には女性専用区画も設けられ、船員経験のある女性社員がデザインを手がけて、居室 2 部屋分のスペースに女性風呂、女性トイレ、女性専用洗濯・乾燥機が設置されたほか、快適な船内生活を過ごせるようにと、荷役制御室や船橋、厨房に、空調設備とは別に家庭用エアコンが設置されている。

本船の船長は「既存船に比べて、船内居住性が格段に良くなった。船内生活が過ごしやすくなった」と語った。

新共和丸は内航タンカーとして、国内の製油所で精製された大量の石油製品を、国内各地の油槽所に運ぶ業務に就く。船員の労働負担を軽減し、安全運航・安全荷役で、国民生活に欠かせない石油エネルギーを運ぶことが期待されている。

「海員だより」